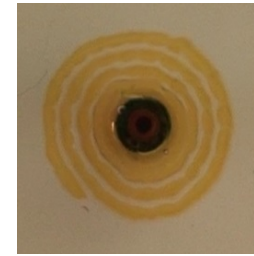
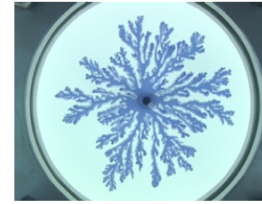


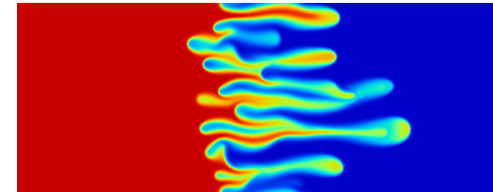
# 26th I<sup>2</sup>plus Seminar



Schedule: 16:30-18:30, Mar 30th, 2018

Place: Seminar Room 3 (Research Bld. Katsushika Campus, TUS)

Speaker: Dr. Yuichiro Nagatsu (Tokyo University of Agriculture and technology)



## 界面液体力学に及ぼす種々の物理化学効果の影響 Influences of physicochemical effects on interfacial hydrodynamics

Abstract: 多孔質媒質内で高粘性液体が低粘性液体に置換されるとき、二流体の界面は指状のパターンを形成する。この現象はViscous fingering (VF)と呼ばれている。VFは現在、典型的な界面流体力学問題として位置づけられている。VFの界面流体力学の研究は1950年代から行われている。ここ30年ほど、種々の物理化学的因子がVFに及ぼす影響が注目されている。そのような物理化学的因子には、流体の非ニュートン性、化学反応、二重拡散などがある。化学反応が流動に係わる界面張力、密度、粘度、粘弾性などの物性値を変化させるとき、その反応はVF界面流体力学を変化させるポテンシャルを持っている。本講演では、筆者らが取り組んできた研究を含む化学反応がVFに及ぼす影響を中心に紹介する。



Contact : I<sup>2</sup>plus (i2plus@rs.tus.ac.jp), Masahiro Motosuke (mot@rs.tus.ac.jp)

Organizer : Research Division of Multiscale Interfacial Thermo-fluid Dynamics (I<sup>2</sup>plus) RIST, TUS

